

①慢性腎臓病（犬）

- ▶ 犬種（ヨークシャーテリア）、年齢（14）、雄
- ▶ 来院主訴：食欲不振、嘔吐
- ▶ 既往歴：緑内障、膀胱炎
- ▶ 併用薬：静脈点滴、ベナゼプリル、オゾン注腸法
- ▶ 検査：CBC、生化学、レントゲン検査、腹部エコー検査
- ▶ ADSC治療目的：慢性腎臓病の症状の改善
- ▶ ADSC投与日：

投与日	投与量（ $\times 10^6$ /body）
2017/6/21	1.6
2017/6/27	2.4
2017/7/5	3.0
2017/7/23	3.0

①慢性腎臓病（犬）

▶ 臨床検査値等の変動

日付	6/12	6/19	6/21	6/26	6/30	7/7	7/14	7/21	7/28
BUN(mg/dL)	225.9	93.6	101	203.4	167.9	112.2	138.1	226.8	202.2
Cre(mg/dL)	7.9	4.5	4.6	5.0	4.7	3.8	4.1	4.7	4.6
IP(mg/dL)	13.7	7.2	6.5	10	10.5	8.2	11.2	14.3	10.2
Ca(mg/dL)						12.0	11.7	11.2	12.4
QOL評価	－	－	＋	－	＋	＋＋＋	－	－	－

①慢性腎臓病（犬）

- ▶ 輸液頻度：静脈点滴（計20回） 皮下点滴（計6回）
- ▶ 併用薬投与量および期間
 - ・ベナゼプリル 0.3mg/SID（2017/6/12~2017/6/29）
 - ・テルミサルタン 1mg/SID（2017/6/30~2017/7/30）
 - ・ベラプロストNa 55μg/BID（2017/7/31~2017/8/3）
- ▶ 副作用の有無：特筆的所見なし

①慢性腎臓病（犬）

▶ 獣医師コメント

- ・慢性腎臓病の症状の改善を目的にADSCを投与
- ・静脈点滴および皮下補液、内服薬、フード(腎臓サポート)で状態維持が困難であったため、オゾン注腸法とともに他家ADSCを投与
- ・3回目の他家ADSC投与後は、元気も回復し、歩き回るようになり強制給餌ではあるが、よく食べるようになった
- ・オーナーの満足度も高く、再度投与したいとの要請があり、4回目の他家ADSC投与したが、QOLは改善せず、2週間後に死亡
- ・今回の結果から慢性腎臓病への効果の有無の判定は難しいと考えられる

②慢性腎臓病（犬）

- ▶ マルチース、13歳、♀
- ▶ 診断：慢性腎臓病
- ▶ 主訴：嘔吐（来院前日より黄色い液体を吐く）、食欲不振
- ▶ 臨床症状：嘔吐、食欲不振、下痢

	2016/3/27	2016/4/3	2016/4/10	2016/4/17	2016/5/8
BUN(mg/dl)	over 200	over 200	91	23	133
Cre(mg/dl)	3.3	1.9	1.6	1.1	3.0
ALT(U/L)	100	839	996	402	37
QOL	24	-	39	47	-
ADSC(cells)	3.1×10^6	3.1×10^6	2.6×10^6	3.1×10^6	-

- ▶ QOL向上のため他家ADSCを投与（計4回、IV投与）

②慢性腎臓病（犬）

▶ 獣医師コメント

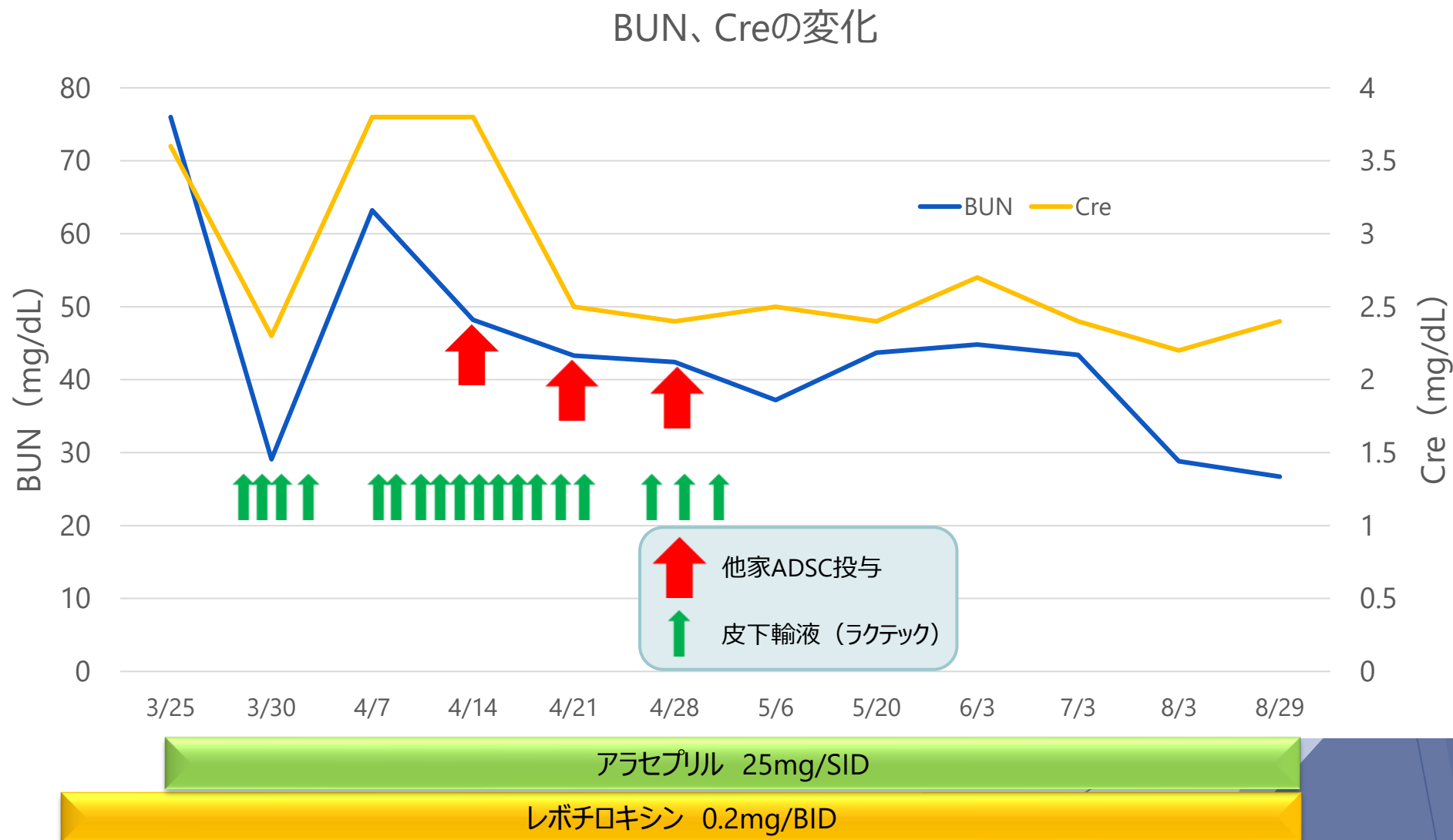
- ・当初は3回のADSC投与で終了する予定だったが、3回投与の時点でQOLの良好な経過がみられたため4回目のADSC投与を実施した
- ・4回目投与終了時において、慢性腎臓病の末期的状態からは改善がみられたが、慢性的な兆候は変わらずみられた
- ・ADSCを投与している期間においてはQOLおよび腎数値（BUN、Cre）、ALTの改善に効果が認められたが、最終投与から3週間後の時点でBUNの上昇がみられた
- ・一方で、ALTは最終投与から3週間後においてさらなる低下がみられ肝機能の改善にADSC投与が一定の効果があったと考えられる

③慢性腎臓病（犬）

- ▶ 雑種、13歳、♂
- ▶ 来院主訴：食欲不振、嘔吐
- ▶ 既往歴：甲状腺機能低下症（レボチロキシン服用）
- ▶ ADSC治療経過
 - ・2017/3/25-3/27：入院管理（ソルデムアAG静脈点滴）、アラセプリル服用開始
 - ・2017/4/14：他家ADSC 2.16×10^7 cells iv
 - ・2017/4/21：他家ADSC 1.92×10^7 cells iv
 - ・2017/4/28：他家ADSC 2.10×10^7 cells iv

③慢性腎臓病（犬）

▶ 治療経過



③慢性腎臓病（犬）

▶ 獣医師コメント

- ・慢性腎臓病の症状の改善を目的にADSCを投与
- ・静脈点滴および皮下補液を継続しないとBUN、Creは上昇してしまう状態だった
- ・他家ADSC投与後は内服薬、サプリメント（カリナール1および2）のみで状態が維持できている
- ・他家ADSC投与4カ月経過しても、状態を維持できているため現在経過観察中
- ・幹細胞投与後は食欲も回復し、よく食べるようになった
- ・今後、状態悪化がみられた場合に再度ADSC投与を検討する（オーナーの満足度も非常に高く、悪化時に再度投与したいとの希望あり）